

第2章 設置と接続

本体の設置と接続について説明します。

設置

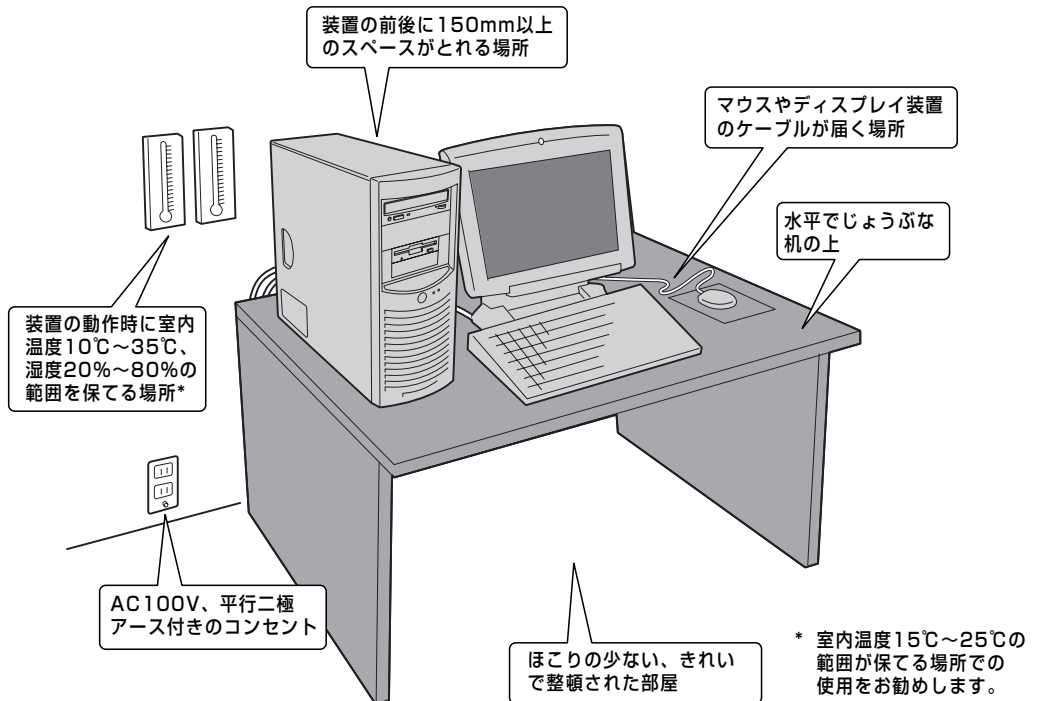
⚠ 注意



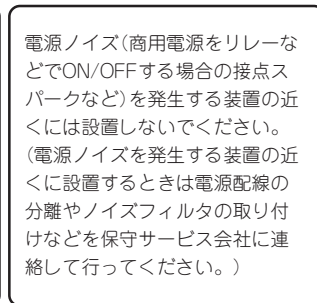
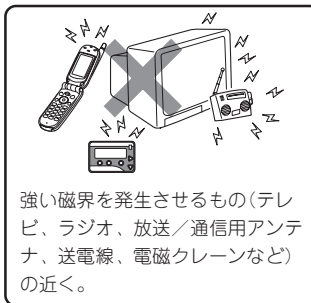
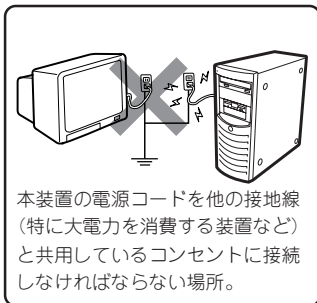
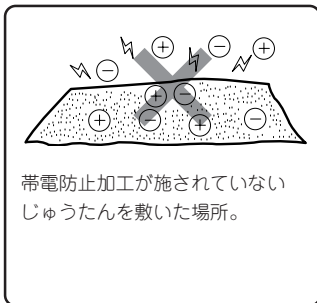
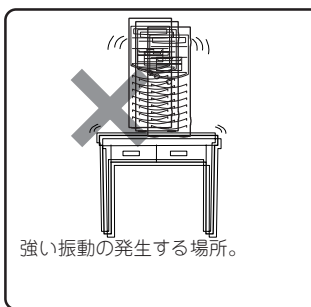
装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- 一人で持ち上げない
- フロントマスクに手をかけて運ばない
- 指定以外の場所に設置・保管しない

本体の設置にふさわしい場所は次のとおりです。
本体をしっかりと持ち、ゆっくりと静かに設置場所に置いてください。



次に示す条件に当てはまるような場所には、設置しないでください。これらの場所に本体を設置すると、誤動作の原因となります。



移動と保管

本体を移動・保管するときは次の手順に従ってください。

⚠ 注意



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- フロントマスクに手をかけて運ばない
- 指定以外の場所に設置しない
- プラグを差し込んだままインターフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない



重要

- フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い上げの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- ハードディスクドライブに保存されている大切なデータはバックアップをとっておいてください。
- ハードディスクドライブを内蔵している場合はハードディスクドライブに衝撃を与えないように注意して本体を移動させてください。

1. フロッピーディスクやCD-ROMをセットしている場合は本装置から取り出す。
2. 本体の電源をOFF (POWER/SLEEPランプ消灯)にする。
3. 本体の電源コードをコンセントから抜く。
4. 本体に接続しているケーブルをすべて取り外す。
5. 本体の底面を持って運ぶ。



重要

本体前面のフロントマスクを持って、持ち上げないでください。フロントマスクが外れて落下し、装置を破損してしまいます。

6. 本体に傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。

接 続

本体と周辺装置を接続します。本体の背面には、さまざまな周辺装置と接続できるコネクタが用意されています。次の図は標準の状態と接続できる周辺機器とそのコネクタの位置を示します。周辺装置を接続してから添付の電源コードを本体に接続し、電源プラグをコンセントにつなげます。

警告



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

ぬれた手で電源プラグを持たない

注意



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

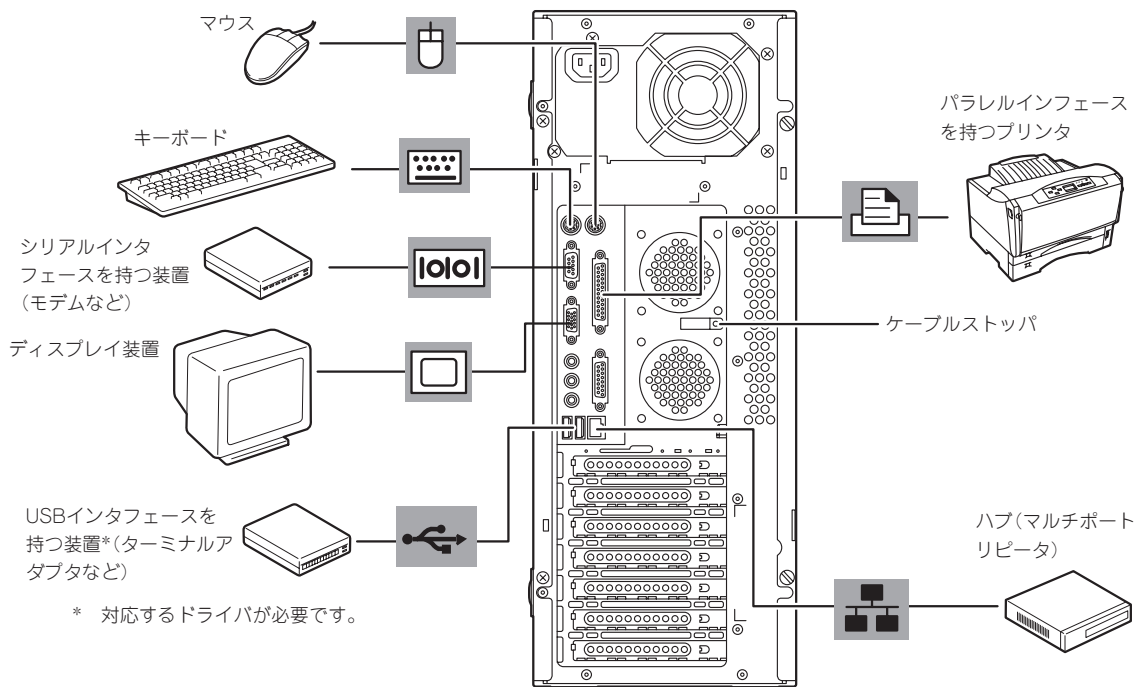
- 指定以外のコンセントに差し込まない
- たこ足配線にしない
- 中途半端に差し込まない
- 指定以外の電源コードを使わない
- 電源コードを接続したままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない
- 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブル

インタフェースケーブルを接続してから電源コードを接続します。

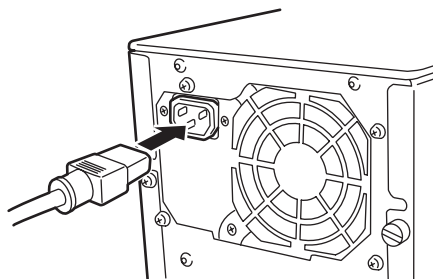


- 本体、および接続する周辺機器の電源をOFFにしてから接続してください。ONの状態のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
- サードパーティの周辺機器およびインタフェースケーブルを接続する場合は、お買い求めの販売店でそれらの装置を使用できることをあらかじめ確認してください。サードパーティの製品の中には使用できないものもあります。
- 必要に応じてケーブルストッパを取り付けてケーブルを固定してください。キーボード/マウスやPCIスロットに増設したボードに接続したケーブル(LANケーブルなど)の着脱を防止するため効果があります(ケーブルストッパは本体内部で固定されています)。
- 本体標準のシリアルポートは専用線接続は不可です。
- ここで説明していないコネクタは未使用コネクタです。何も接続しないでください。



電源コード

添付の電源コードを接続します。



- 本体の電源コードを無停電電源装置 (UPS) に接続する場合は、UPSの背面にあるサービスコンセントに接続します。
UPSのサービスコンセントには、「SWITCH OUT」と「UN-SWITCH OUT」という2種類のコンセントがあります (「OUTPUT1」、「OUTPUT2」と呼ぶ場合もあります)。UPSを制御するアプリケーション (ESMPRO/UPSCONTROLLERなど) から電源の制御をしたい場合は、「SWITCH OUT」に電源コードを接続します。常時給電させたい場合は、「UN-SWITCH OUT」に電源コードを接続します (24時間稼働させるモデムなどはこのコンセントに接続します)。詳しくはUPSに添付の説明書をご覧ください。
- 本体の電源コードをUPSに接続している場合は、UPSからの電源供給と連動 (リンク) させるために本装置のBIOSの設定を変更してください。CMOS Setupユーティリティの「Advanced」-「Power Management Setup」-「State After Power Failure」を選択すると表示されるパラメータを切り替えることで設定することができます。詳しくは6章を参照してください。

